

グループ全職員のみなさまへ

921台湾大震災に対する 災害医療協力報告(10/15)

本日10月15日朝の時点での台湾で活動中のTDMAT(徳洲会災害医療協力隊)メンバーの活動の報告と今日の予定をいたします。

TDMAT(徳洲会災害医療協力隊)の行動

10月14日の活動

東勢国民小学校避難所診療班

診療者数 86名(内科55,外科31)

内科(呼吸器38,消化器9,慢性3,その他5) 外科(外傷20,その他9,vaccine2)

一人の酔っぱらいが何度も来診する

書家より扇子用にと数枚頂いた

2人ともストレスによる不定愁訴が受診理由で診療所が何らか役に立っているのかと思った

みんな疲れてきており、夜も8人となって何となく寂しい模様、地元の通訳ボランティアも自分の家の片付けなどが忙しくなり、また体も疲れるようでそろそろ限界と思われる

東勢地区の基幹病院である農会附属医院(2300床)を調査した

【メンバーの帰国】

10/14に松元、栗岡、張の3名が無事帰国しました。

本日15日17時に現地ベースキャンプを撤収、18時に東勢を撤退、車でその日のうちに林口長庚病院に戻り、16日病院見学の後、12:00台北発15:55羽田着中華航空100便で帰国します。

10月15日の各班の行動予定

第A班 東勢国民小学校避難所派遣

竹内 克彦	医師(内科)	大和
阿部 好弘	医師	鹿児島
Jenny Lai	医師(小児科)	USA
根笹 智江	看護婦	札幌東
浦里 博史	看護士	神戸
倉田 真紀子	看護婦	札幌東
山崎 宏和	看護士	大和



第B班 東勢国民中学校ベースキャンプ

橋爪 慶人	医師	岸和田
渡辺 英樹	ME	鎌倉

第C班 長庚記念医院

劉 孟娟	医師	名瀬
田原 代志枝	看護婦	千葉西



東勢被災地便り:

大きな橋が寸断されているところがありました。高低差2~3mの断層が河床を横切り、滝のようになって下に立つと上流が見えないほどでした。まさに数万年かけてつづく地球の造山活動を垣間見た気がしました。小さいものの余震もまだおこっており、現地の住民にとって地震被害はまだ現在の問題です。そのストレスは計り知れないものがあるでしょう。阪神の時よりずっと早いとはいえ、復興はまだ始まったばかりです。15日で私たちの診療活動を切り上げますが、数ヶ月後、必要であればまたここに来て住民のみなさんに逢えればと思います。

事務局便り:

明日16日台湾から残りのメンバー全員が帰国します。東京本部も明日は忙しくなります。そして、16日で東京本部に間借りしていたTDMAT事務局は湘南鎌倉病院を中心に分散して仕事をすることになります。取りあえず、参加メンバーの報告書や写真などの資料のまとめ、および報告会の開催準備です。最終的にCD-ROMにしてみなさんに配りたいと考えていますが、予算が...